

黒沢川流域水害対策計画について

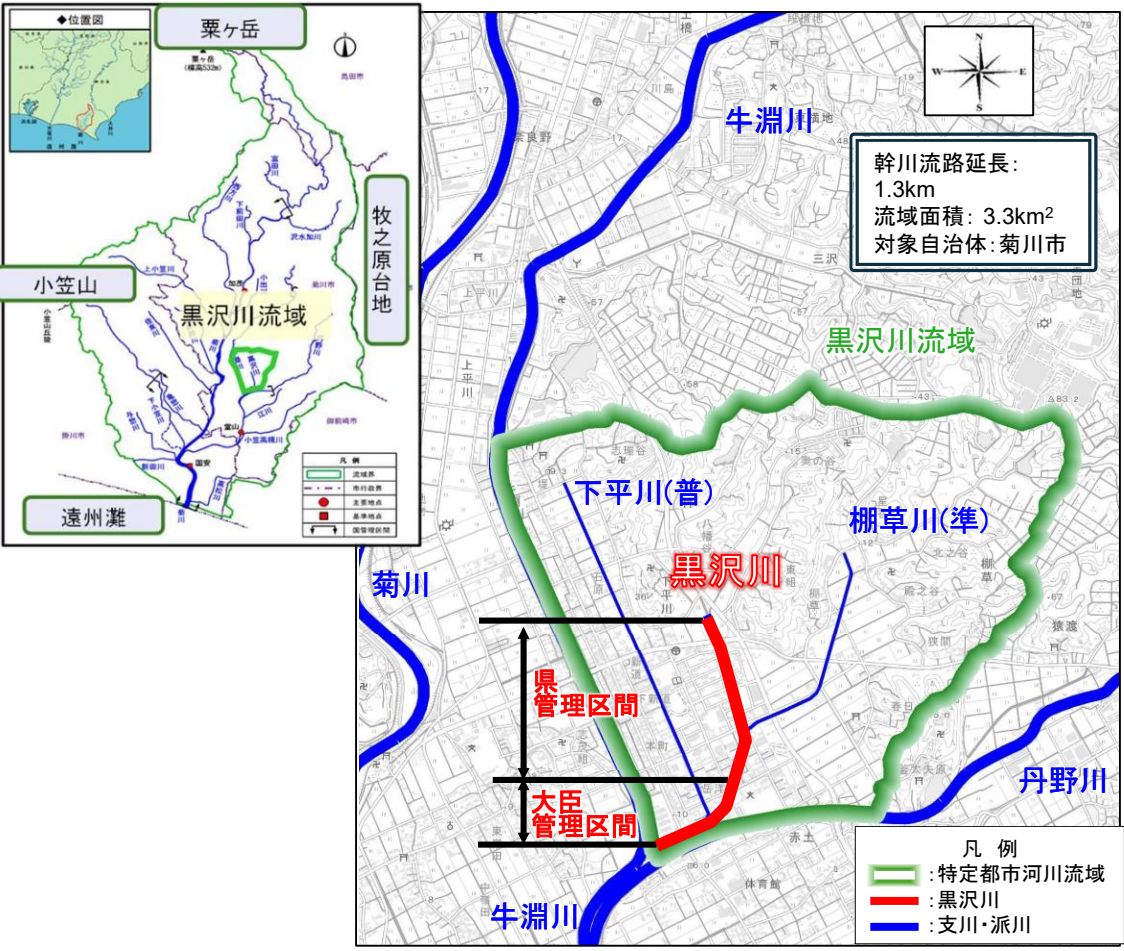
令和7年12月24日

国土交通省 中部地方整備局
浜松河川国道事務所

黒沢川特定都市河川の指定

○ 黒沢川流域は、牛淵川と丹野川の堤防に囲まれた地域であり雨水が滞留しやすく内水被害が繰り返されていることから、法的枠組みを活用したあらゆる関係者による流域治水を推進し、早期に浸水被害解消を図るため、**令和7年3月31日に黒沢川を特定都市河川に指定した。**

特定都市河川の指定区間および流域



| 河川名 | 区間 | |
|---------------|-----------------------|----------|
| | 上流端 | 下流端 |
| くろさわがわ 黒沢川 | 静岡県菊川市下平川字橋上5112番の1地先 | 牛淵川への合流点 |

特定都市河川の指定

■ 菊川水系黒沢川が特定都市河川に指定されたことから、菊川市・静岡県・国土交通省の3者で「流域水害対策推進表明書取交式」を令和7年4月16日に開催した



菊川市 静岡県 国土交通省

流域水害対策推進表明書

令和7年3月31日付けで、菊川水系黒沢川が、特定都市河川及び特定都市河川流域に指定され、流域治水関連法の法的枠組により更に効果的に「流域治水」の取組を推進することが可能となった。

今後、関係者が連携し、治水対策を加速化するとともに、流出抑制の取組を実施するなど、流域水害対策を推進することを表明する。

令和7年4月16日

菊川市長 長谷川 寛希

静岡県知事 鈴木 康夫

国土交通省中部地方整備局長 佐藤 寿延



黒沢川流域で考えられる対策

- 国及び県では、河川整備(河道掘削、樋門改築等)を推進・検討する。
- 菊川市では、流域対策として、棚草川遊水地と岳洋中学校での校庭貯留整備を推進・検討する。
- 上記の対策の他、流域のあらゆる関係者の参画のもと、浸水被害対策を総合的かつ多層的に進める検討を行う。



第1回 菊川水系黒沢川流域水害対策協議会 開催報告

- 特定都市河川浸水被害対策法に基づき、第1回菊川水系黒沢川流域水害対策協議会を開催しました。
- 「流域水害対策計画」の策定に向けて、流域の課題や今後のスケジュールを確認しました。

協議会概要

日 時：令和7年11月7日（金）10時より
会 場：菊川市役所 東館3F会議室
次 第：菊川水系黒沢川流域水害対策協議会の規約について
特定都市河川の指定について
流域水害対策計画策定に向けて
今後のスケジュールについて
出席者：中部地方整備局局長 森本 輝（代理：河川部部長 高畑 栄治）
静岡県知事 鈴木 康友（代理：交通基盤部理事 望月 嘉徳）
菊川市長 長谷川 寛彦
一般社団法人地域国土強靱化研究所顧問 末次 忠司
東海大学名誉教授 田中 博通
静岡地方気象台台長 山本 佳緒里
農林水産省関東農政局農林振興部長 西尾 利哉
（代理（WEB）：農林振興部設計課課長 足立 徹）
平川地区防災連絡会会長 水野 貞幸

国土交通省（開会挨拶）

■中部地方整備局河川部部長 高畑 栄治

- 協議会メンバーとともに浸水被害対策を協議・検討させていただき、水害に強い地域をつくるための「流域水害対策計画」の策定に向けて進めていく。
- 中部地方整備局としてもフラッグシップ事業としてしっかりと進めていきたいと考えているため、皆さまのご協力をお願いしたい。

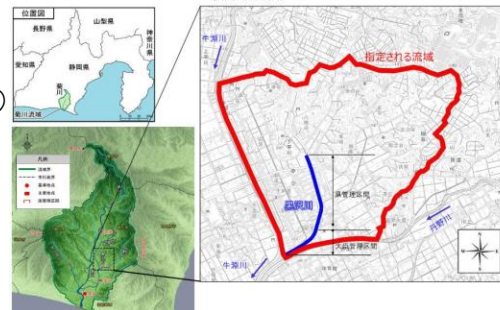
菊川市（開会挨拶）

■菊川市長 長谷川 寛彦

- 菊川では昔から河川として様々な恩恵も受けてきたが、苦勞もさせられてきた。そんな中、黒沢川を特定都市河川に指定していただいた。
- 菊川市では、校庭貯留や田んぼダム、貯留施設を作る計画があり、しっかりと浸水被害対策を進めていきたいと考えている。

菊川水系黒沢川

- ・幹川流路延長：1.3km
（大臣管理区間0.45km、県管理区間0.85km）
- ・流域面積：3.3km²
- ・対象自治体：菊川市



座長（座長指名挨拶）



■一般社団法人地域国土強靱化研究所顧問 末次 忠司

- 協議会では、激甚化する水害への備えとして、水害対策の計画について議論をしていきたいと思っている。
- 黒沢川流域は浸水被害が生じやすい地形であるが、関係機関が知恵を出し合い、力を結集することで被害を軽減することができると考えているため、活発な議論をお願いしたい。

静岡県（閉会挨拶）

■静岡県交通基盤部理事 望月 嘉徳

- 激甚化する雨への対応には、流域治水の取り組みを確実に実践することが重要であると改めて確認できた。
- 黒沢川の浸水対策は、静岡県の流域対策の先駆けであり、今後の模範となり得るものと考えている。
- 本日の議論を踏まえ、県としても、国、菊川市と一層の連携を図り対応していきたい。

委員からの主な意見

- 市民にも伝わりやすいように、定量的に、対策効果を見える化していくべきである。
- 浸水しやすい田んぼ等の土地については、掘削して貯留容量を増やしていくことや、貯留機能保全区域に指定していくことを検討すべきである。



会議の様子